

認知症高齢者の絵カード評価法研修会 & 目白大学大学院 説明会・相談会



(リハビリテーション学研究科)

目白大学作業療法研究会（略称めじけん）研修会のご案内をさせていただきます。
めじけんでは、作業療法に関する興味深いテーマを選び、卒業生だけでなく、
作業療法士の方ならどなたでも参加して頂ける研修会を行っています。



認知症高齢者の絵カード評価法(APCD)

- APCD は人間作業モデルを理論的基盤とし、作業場面の線画が描かれた70種類の絵カードを用いて、クライアントが自分の意味がある作業を明らかにできるように作られています。
- 絵カードを通じて語られるクライアントの語りを傾聴することで、対象者が体験している作業的生活とその文脈を評価できます（井口ら、2011、2012）。
- 目標を協業することが困難なケースが多い認知症高齢者の作業への参加を支援して行く上で、有効なツールです。



今回は目白大学大学院教授の山田孝先生に絵カード評価法の概念、使用方法始め、認知症高齢者への作業に焦点を当てた実践について講演していただきます。終了後は目白大学大学院リハビリテーション学研究科の説明会・相談会も開催いたしますので多くのご参加をお待ちしております。

日時：2015年8月2日（日） 13時00分～15時30分（受付開始12時30分）

参加費：一般：1,000円 学生：無料

講師：山田 孝 先生（目白大学大学院）

場所：目白大学新宿キャンパス 研心館
東京都新宿区中落合 4-31-1

定員：50名程度

主催：目白大学作業療法研究会

その他：絵カード評価法の当日購入ができます。ご希望の方は研修会申し込み時に希望の旨を記載していただくと、購入がスムーズになります。
マニュアル¥2,500 カード評価法¥2,000

目白大学大学院 リハビリテーション学研究科説明会・相談会

時間：研修会終了後、15時45分から
対象：目白大学リハビリテーション学研究科（PT,OT,ST 各専攻）への入学を検討されている方
内容：研究科概要の説明、カリキュラムの説明
研究テーマや学生生活について個別相談
担当：山田孝(教授)、會田玉美(教授)、野村健太(第2期卒業生)

交通アクセス

- 会場に駐車場はございません。公共交通機関のご利用をお願い致します。
- キャンパスの正門は入らず、正門わきの道路をお進みください。



申し込み・問い合わせ

「第26回めじけん研修会参加申し込み」というタイトルで、①氏名②勤務先③臨床経験年数(目白在学生は学年、卒業生は何期生かを加えて)、④メールアドレス⑤「研修会のみ」「説明会・相談会のみ」「両方参加」のいずれか、を明記の上、7月29日(水)までに下記のメールアドレスからお申込みください。

めじけん代表 野村 健太
mejiken.ot@gmail.com

